住友林業

2026年11月13日

報 道 各 位

住友林業株式会社

住まいと緑のトータル提案「PRIME GREEN（プライム グリーン）」を開始
～インテリアグリーンのサブスクサービスを導入し、四季の移ろいを愉しむ住環境の提案を推進～

住友林業株式会社（社長：光吉敏郎　本社：東京都千代田区）は住まいと緑のトータル提案を「PRIME GREEN」と名付け、2027年1月から「住友林業の家」を検討するお客様へ展開します。

「PRIME GREEN」は家づくりの初期段階から建物内外の緑を総合的に計画するサービスです。バイオフィリックデザイン※1を取り入れて、自然を身近に感じられる住環境を創出します。さらに、インテリアグリーンの定期交換やメンテナンスを行うサブスクリプションサービスを導入※2し、緑のある暮らしを継続的に楽しめる仕組みを提供します。住宅メーカーによるインテリアグリーンのサブスクリプションサービスは、業界として先進的な取り組みです。

住友林業は「PRIME GREEN」を通じて、緑とともに心地よく暮らせる住まいづくりを目指します。



「PRIME GREEN」を取り入れた外観・内観イメージ

※1：木・光・風など自然の要素を木質部材を中心とした様々な素材と調和させ、屋外とのつながりを持たせた空間デザイン。
※2：2027年1月から東京23区で提案を展開。順次、対象エリアを拡大する方針です。

■「PRIME GREEN」

「緑のある暮らしをデザインする」をコンセプトに、庭などエクステリアの植栽計画からインテリアグリーンの提案、入居後の建物内外の植物の維持管理までを包括的にサポートします。住宅や街並みの緑化・造園事業を手掛ける住友林業緑化とのシナジーを活かし、建物の外観や周辺環境と調和する住環境を提案します。

■特徴

1）　住まいの内と外を緑でつなぎ、開放感のある空間を創出
視線の抜けを意識した植物の配置により、リビングから庭、その先の街並みへと緑が広がる空間を創出します。
また、インテリアグリーンを単なる装飾として配置せず、室内空間の構成要素として活用。吹き抜け空間に大型の植栽を配置したり、植物でリビングとワークスペースを緩やかに区切ることで、住まいのどこにいても自然とのつながりを感じられる空間を実現します。

2）　豊富な樹種のラインアップで、住まいを引き立てる緑を提案
エクステリアには住友林業緑化のオリジナル樹木※3をはじめとする、お客様の暮らし方にあわせた最適な樹種を提案。多様な植栽計画で住まいの魅力を引き立てます。オリジナル樹木は「ホワイトラブ」など、見栄えや剪定のしやすさ、丈夫さに配慮して開発した樹種を取り揃えています。



オリジナル樹木「ホワイトラブ」（ハナミズキ）

木と生きる幸福
住友林業グループ

3)　サブスクリプションサービスで、手軽に緑のある暮らしを実現
インテリアグリーンの定期交換とメンテナンスを行うサブスクリプションサービスを開始します。季節ごとに植物を入れ替えることで、室内で四季の移ろいを楽しめるほか、専門スタッフのサポートで管理負担を軽減します。気に入った植物はそのまま購入することも可能です。

※3：住友林業緑化のオリジナル樹木
(https://www.sumirin-sfl.co.jp/materials/products/timber/)


住まいの内と外を緑でつなぐ空間事例

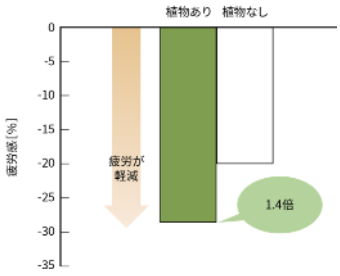

住まいの中心に緑を取り込む空間事例

■背景と経緯

外部調査機関※4によるインテリアグリーンに関するアンケート調査では、対象者の約55%が「室内に緑を置いている、または置きたい・興味がある」と回答しており、住空間への緑の導入に多くの人が関心を持っていることが明らかになっています。

また、これまで 20 年以上にわたり「木の効果」に関する研究を進める住友林業筑波研究所では、植物を設置した空間で休憩した場合、設置していない空間と比べて全体疲労感の改善効果が約1.4倍になることを確認しており、植物が人の心身にリラックス効果をもたらす可能性が示されています。

こうした背景を踏まえ、住友林業は「PRIME GREEN」を通じた住まいと緑の総合的な提案を強化します。本提案で、緑のある暮らしの価値をさらに高めていきます。



植物の設置有無による
全体疲労感改善効果の比較（主観的評価）

※4：©Macromill, Inc. Coreka　(2026 年 6 月に一般消費者 1,235 人を対象に実施)

住友林業グループは森林経営から木材建材の製造・流通、戸建住宅・中大規模木造建築の請負や不動産開発、木質バイオマス発電まで「木」を軸とした事業をグローバルに展開しています。2030 年までの長期ビジョン「Mission TREEING 2030」では住友林業のバリューチェーン「ウッドサイクル」を回すことで、森林の CO2 吸収量を増やし、木造建築の普及で炭素を長期にわたり固定し、社会全体の脱炭素に貢献することを目指しています。今後も ZEH、ZEB、LCCM 住宅、ネットゼロカーボンビルを推進し、建てる時と暮らす時の両面での CO2 排出量削減で脱炭素化を加速させます。

≪リリースに関するお問い合わせ先≫
住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション部　神田・内田
TEL：03-3214-2270